

令和5年度事業報告

令和5年4月1日から
令和6年3月31日まで

I 概 要

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染が収束に向かい、経済活動は大きく回復したものの、資源エネルギー価格の高騰や物価の上昇など大きな転換期を迎えております。一方、国内における高齢化率は、令和4年10月1日現在29.0%に達し（令和5年版高齢社会白書）人生100年時代と提言される超高齢化社会を迎える中、地域社会に貢献するシルバー人材センターの役割は増々大きくなっています。

このような状況の中、当センターでは「安全は全てに優先する！」をモットーに事業計画に基づき事業を展開し、特に「会員数の増強」「就業機会の拡大」「安全・適正就業の推進」に力を入れ取り組んでまいりました。

主な事業実績は、会員数310名（男211名／女99名）で前年度比+3%、請負契約額182,728,207円で前年度比+3.8%、受注件数2,049件で前年度比+0.7%、就業実人員262名で前年度比+2.3%、労働者派遣事業（シルバー派遣）契約額15,210,963円で前年度比-10.2%となりました。

事業全体としては、請負契約・労働者派遣事業合わせ197,939,170円で前年度比+2.6%と前年度を上回る実績となりました。今後もシルバー人材センターを取巻く環境は厳しい状況が続くことが予想されることから、就業会員の加入促進や新規業務の開拓等に積極的に取り組むとともに、会員の働きやすい環境を整え魅力あるセンターを目指し努めていきます。

また、安全就業の点に目を向けますと、就業中において軽微な事故は発生したものの、重大事故の発生はありませんでした。これは会員一人ひとりが安全就業に対し十分な注意を払い、常に意識して仕事に取り組んだ結果だと考えます。次年度以降も「事故ゼロ」を目指し各種講習会等を実施し、会員への安全就業の啓発を積極的に行っていきます。

更に新型コロナウイルスの影響で開催を見合わせて来た事業も、各種講習会・ボランティア活動・シルバー人材センターまつり等、新型コロナウイルス感染拡大前の事業を概ね開催することができました。今後も役員、会員、職員が一丸となりシルバー事業のより一層の発展に努めてまいりたいと考えております。

ここに、令和5年度事業計画に基づいた事業が終了しましたので、改めて関係機関並びに市民の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。事業報告といたします。

II 詳 細

(1) 安全・適正就業の徹底

会員の就業中の事故防止及び熱中症予防のため、安全・適正就業推進委員会を中心に7月～10月の期間に安全巡回パトロールを実施し、就業環境及び会員の体調等を確認するとともに会員の安全に対する意識を高めました。

また、安全・適正就業推進委員会を随時開催し、発生した傷害事故・賠償事故の事故検証を行い、事故の再発防止に取り組みました。その結果、賠償事故が前年度と比べ事故件数が減少するなどの効果が表れました。

さらに、会員が安心して就業できるよう、適切かつ適正な契約に基づく就業形態を強化するべく、「適正就業ガイドライン」を活用した就業内容の確認を行いました。

(2) 会員の増強及びセンターのPR

入会希望の方に、随時入会説明会を開催し、会員の入会促進を行いました。その結果、47名（前年度31名）の新規の会員登録がありました。しかし、退会者数が40名（前年度34名）で合計7名の増となり、今後も市広報紙、チラシ、ポスターを利用したセンターのPR活動の強化及び未就業会員に対して就業案内による退会抑制で、会員数の増加に努めていきます。

(3) 就業先の確保及び派遣事業の拡大

会員向け、センターの情報発信として、広報・会員拡大委員会が主体となり「ひまわり通信」を年4回発行し、全会員に配布し、また、ホームページの随時更新を行いセンターの最新の情報を発信することで「魅力あるシルバー人材センター」のPRに努めました。

請負契約を締結している業務において、「適正就業ガイドライン」に基づき契約内容を精査し、公益財団法人いきいき埼玉の指導の下、派遣契約に切り替えを検討しました。次年度以降も継続していきます。

(4) ボランティア活動の推進

社会貢献の観点から、ボランティア活動として5月に市役所前庭松の剪定ボランティア活動を行い、植木班及び片付け班合わせて20名の参加をいただきました。また、11月に「街なか清掃」を開催し、50名の参加をいただきそれぞれ実施しました。

また、4年ぶりに「シルバー人材センターまつり」を開催し、実行委員会及び関係機関の多大なご協力の下、約250名の参加を得て、盛会のうちに無事終了することができました。

(5) 研修会・講習会等の開催

会員のスキルアップ、後継者育成を図るため、清掃業務に従事する会員を対象に「ラク家事お掃除講座」を開催、また建物管理業務に従事する会員を対象に「救急救命講習会」をそれぞれ開催しました。

例年、草刈業務において事故が発生していることから、「歩行型草刈機安全講習会」「草刈機安全講習会」を実施し、参加者の安全就業に対する意識向上を図りました。

(6) 組織の充実及び運営基盤の強化

センター事業の更なる推進のために、各委員会（安全・適正就業推進委員会、広報・会員拡大委員会、女性活躍委員会）を計画的に開催し、また、役職員のスキルアップを図るため公益財団法人いきいき埼玉等主催の講習会、研修会に参加しました。

また、当センターの今後の各種施策を継続的に実施するための指針を定める中期基本計画について、策定委員会を計4回開催し、委員会で検討した結果に基づき「羽生市シルバー人材センター中期基本計画」を策定しました。